

## 地球市民として心がけること

横浜国立大学教育学部附属鎌倉中学校 2年 森 健司

小さい頃から、海外では「麺を食べる時は音を立てないように」と言われてきましたが、日本ではみんな蕎麦は音を立てて食べているのにどうしてなのだろう、と不思議でした。大きくなって、これは国や文化による常識や考え方の違いであることに気がつきましたが、これはともすれば喧嘩に繋がるなど、リスクが存在します。もちろん、国ごとに考え方が違うのは文化の違いもあるのでいいことなのですが、それが麺の例のような些細なことで、悪い方向に展開してしまうこともあり、最悪の場合、戦争などに繋がってしまう可能性もゼロとは言えません。このリスクを減らすためには、どのようなことをしたらよいでしょうか。

その国の考え方を変えてもらうのは、その国の歴史や伝統を否定することになりかねません。ですので、まず直ぐに自分ができることとしては、相手の国のことをよく理解することだと思います。理解し合えない状態が引き起こす問題が二点挙げられます。一つ目は、その国の悪い印象にとらわれて、何でも悪い方向に捉えてしまうという点です。一つの事象で物事を判断してしまうと、大事なことを見失ってしまう可能性があり、それは誰にとってもいいことではありません。二つ目は、自分の生活が常識だと思ってしまい、それを基準に考えてしまう恐れがあるということです。自分のやり方が絶対に正しいということではなく、そのような考え方をすることでよりよい学びの機会を損ねてしまう可能性があります。お互いのことを受け入れ合えば、考えの違いによって引き起こされる大部分の問題は回避できるのではないのでしょうか。ただし、全ての国のことをお互いがすぐに理解しあうのは難しいので、まずは訪れた国や出会った外国の人の国について理解していくことが大事だと思います。

相手のことを理解することができたら、もう一つできることは、もし目の前で自分にとって非常識な振る舞いをされても、直ぐに腹を立てたりせず、自分の国や文化にとっては受け入れるのが難しいことを相手に説明することです。そうすればお互い嫌な思いをせず、また相手の学びに繋がると思います。

相手から自分の国や文化の違いを説明されて、それについて理解することはできても、心から納得して行動することは難しいかも知れません。私も、アメリカに行った時に「女性にはドアを開けて先に通すこと」と言われましたが、自分の母にすらなかなかできませんでした。しかし、相手を理解しよう、自分を伝えようという努力をし続けることは、たくさんの文化や宗教であふれるこのグローバル社会において重要なことなのではないのでしょうか。私はこれからも色々な人と出会い、色々な国や文化、伝統や宗教を理解しあい、お互いを尊重することで、自分の視野を広げていきたいと思っています。